



バレンタインが近づくと季節、甘さだけでなく素材の良さを重視したチョココレートを探している人に薦めたいのが、草津市の老舗茶舗「千紀園」が手がける「宇治抹茶トリュフ」と「宇治抹茶生チョココレート」です。

千紀園は1661(寛文元年)に創業し、360年以上にわたり日本茶と向き合ってきました。その長い歴史の中で培われた抹茶への深い知見が、抹茶菓子作りにも生かされています。

宇治抹茶トリュフは、コ

## ■ 草津・千紀園の宇治抹茶チョココレート 落ち着いた味 堪能を



クのあるホワイトチョココレートに香り高い宇治抹茶を合わせた一粒です。口に含んだ瞬間、抹茶特有のほろ苦さとうまみが広がり、後味には上品で控えめな甘さが残ります。チョココレート

でありながら、日本茶を味わった後のような余韻が感じられる点が特長です。一方、宇治抹茶生チョココレートは、滑らかな口溶けが魅力です。抹茶の繊細な香りと鮮やかな色合いが生

かされており、舌の上で静かに溶けていく過程で、抹茶のコクとチョココレートのまろやかさが調和します。最後まで重たさを感じさせず、余韻を楽しめる味わいに仕上がっています。



④ 宇治抹茶生チョココレートのパッケージ  
⑤ 宇治抹茶トリュフと宇治抹茶生チョココレート



これまでの「しが旅のススメ」はこちらから

【店舗情報】千紀園の「草津本店」は草津市上笠2の11の8。「草津近鉄店」は草津市渋川1の1の50、近鉄百貨店草津店1階。ホームページはQRコード

茶文化の奥深さを身近に感じられる一品として、今年のバレンタインにお薦めしたいチョココレートです。(草津市観光物産協会事務局・谷坂優希)